

# 平成 27 年 度

## 幼稚園教員資格認定試験

### 教職に関する科目(Ⅱ)

#### 注 意 事 項

受験者は、下記注意事項によること。それ以外の注意事項は試験実施大学の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 実施大学名、氏名、受験番号、受験科目を平成 27 年度「幼稚園・小学校教員資格認定試験解答カード」(以下、「解答カード」という。)の指定された欄に必ず記入してください。
3. 受験番号、受験科目をマークしてください。  
ただし、受験科目のマークについては、幼稚園の欄にマークしてください。
4. 解答カードの中で特に受験番号、受験科目の欄の記入及びマークを間違えると失格になるので注意してください。
5. 解答は、すべて解答カードの解答欄にマークで記入してください。問題冊子に答えを書いても無効です。
6. マークは必ず鉛筆を使用して、枠内にきちんと記入してください。  
訂正する時は、消しゴムで完全に消してください。また、解答カードを曲げたり折ったりしてはいけません。  
解答カードが汚れた場合や折れてしまった場合は、試験監督者に解答カードの交換を申し出てください。
7. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があつてから 60 分です。
8. 試験が終わるまで退室できません。 [マーク例]
9. 試験監督者の「やめ。」の合図があつたら、直ちにやめてください。 (よい例) ●
10. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
11. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。 (悪い例) ⊙ ⊗ ⊕ ⊖

問 1 文部科学省『幼稚園教育指導資料第 5 集 指導と評価に生かす記録』(平成 25 年 7 月)「1. 学校教育としての幼稚園教育」に示された幼稚園に関する記述として適切でないものを、次のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 幼稚園教育の特徴は、教師があらかじめ一人一人の幼児の発達に必要な経験を見通し、各時期の発達の特性を踏まえつつ、教育課程に沿った綿密な指導計画を立てて継続的な指導を行うところにある。
- イ 幼稚園では、小学校以降の学校教育と同様に、教師が幼児一人一人に応じた適切な援助を行いつつ、教具を用いて一斉指導を中心に教育を行う。
- ウ 学校としての幼稚園は、3 歳以上の幼児を対象として、「義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長すること」を目的としている。
- エ 幼稚園においては、幼児期にふさわしい生活が展開され、教師の適切な指導が行われるよう、組織的、発展的な指導計画が作成されることが大切である。

問 2 次の文は、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成 26 年内閣府・文部科学省・厚生労働省告示第 1 号)「第 3 章 指導計画作成に当たって配慮すべき事項」に示されている記述である。幼保連携型認定こども園において「指導計画」を作成する際の留意点の記述として、正しいものを○、正しくないものを×としたとき、組合せとして正しいものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 特に満 3 歳未満の園児については、大人への依存度が極めて高い等の特性があることから、個別対応を図ること。
- ② 満 3 歳以上の園児については、園児一人一人の生育歴、心身の発達、活動の実態等に即して、個別対応の計画を作成すること。
- ③ 満 3 歳以上の園児については、個の成長と、園児相互の関係や協同的な活動が促されるよう配慮すること。
- ④ 異年齢で構成されるグループ等での指導に当たっては、園児一人一人の生活や経験、発達の過程などを把握し、適切な指導や環境の構成ができるよう配慮すること。

	①	②	③	④
ア	○	×	○	×
イ	×	○	×	×
ウ	○	×	×	○
エ	○	×	○	○

問 3 次の①から⑥は、文部科学省『幼稚園教育指導資料第1集 指導計画の作成と保育の展開』（平成25年7月改訂）に参考として示された、指導計画について一般的に考えられている作成の手順である。空欄（ A ）から（ D ）に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 幼児の発達を理解する
- ② 具体的な（ A ）と内容を設定する
- ③ （ B ）を構成する
- ④ 幼児の姿と教師の（ C ）を予想する
- ⑤ 保育を展開する
- ⑥ 保育を振り返り反省や（ D ）を行う

	A	B	C	D
ア	教材	環境	かかわり	記録
イ	教材	壁面	援助	評価
ウ	ねらい	環境	援助	評価
エ	ねらい	壁面	かかわり	記録

問 4 次の文は、「幼稚園教育要領」（平成20年文部科学省告示第26号）「第1章 総則 第1 幼稚園教育の基本」に示されている記述である。文中の（ ① ）から（ ③ ）に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

幼児の発達は、（ ① ）の諸側面が相互に関連し合い、多様な経過をたどって成し遂げられていくものであること、また、幼児の（ ② ）がそれぞれ異なることなどを考慮して、幼児一人一人の特性に応じ、発達の（ ③ ）に即した指導を行うようにすること。

	①	②	③
ア	心身	興味	状況
イ	心身	生活経験	課題
ウ	生活	興味	課題
エ	生活	生活経験	状況

問 5 次の文中の( ① )から( ③ )に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

フレーベル(Fröbel, F. W. A.)は、世界で最初の幼稚園の創設者として知られる。1826年に出版した( ① )では、自己活動と( ② )の原理を中心とした教育の理論を詳述した。また、幼児のための教育遊具として( ③ )を考案した。

	①	②	③
ア	『人間の教育』	労 作	恩 物
イ	『人間の教育』	集団活動	玩 具
ウ	『子どもの発見』	集団活動	恩 物
エ	『子どもの発見』	労 作	玩 具

問 6 次の文は、「幼稚園教育要領」(平成 20 年文部科学省告示第 26 号)「第 2 章 ねらい及び内容」の領域「健康」における「内容の取扱い」に示されている記述である。文中の( ① )から( ③ )に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

様々な( ① )の中で、幼児が興味や関心、能力に応じて全身を使って活動することにより、体を動かす楽しさを味わい、( ② )についての構えを身に付け、自分の体を( ③ )しようとする気持ちが育つようにすること。

	①	②	③
ア	遊 び	安 全	大切に
イ	生 活	安 全	丈夫に
ウ	遊 び	健 康	丈夫に
エ	生 活	健 康	大切に

問 7〔A群〕は絵画製作の表現方法、〔B群〕はその説明文である。〔A群〕と〔B群〕の組合せとして最も適切なものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

〔A群〕

- ① フロッタージュ      ② マーブルリング      ③ ドリッピング

〔B群〕

- a 紙の上に水彩絵の具などをたらし、口やストローで吹くなどして、その軌跡を描く方法。  
b 凹凸のある素材の上に紙をあてて、上からクレヨンなどでこすり、凹凸の模様をうつし出す方法。  
c 水面に墨汁や絵の具をたらし、水面に浮かぶ墨汁や絵の具の模様を紙にうつし取る方法。  
d 凹凸のあるものや型取りのできるものに絵の具を付けて型とし、紙に押し当てて型の模様をうつす方法。

	①	②	③
ア	a	d	b
イ	c	b	a
ウ	b	c	a
エ	b	a	d

問 8 次の文は、ある人物について述べたものである。その人物名として最も適切なものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

1918(大正7)年、児童雑誌『赤い鳥』を創刊した。『赤い鳥』では、自ら作品を執筆するとともに、当時活躍していた作家にも働きかけ、童話や童謡を中心に多くの名作を生み出した。また、投稿欄を設けて子供たちの作品を求め、綴方、児童自由詩、児童自由画の運動を推進した。

- ア 新美南吉  
イ 久留島武彦  
ウ 小川未明  
エ 鈴木三重吉

問 9 楽曲の速度及び強弱を示す音楽用語とその意味の組合せとして最も適切なものを、次のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

音楽用語	意 味
ア decresc.(デクレシェンド)	だんだん遅く
イ rit.(リタルダンド)	だんだん弱く
ウ cresc.(クレシェンド)	だんだん速く
エ a tempo(ア・テンポ)	もとの速さで

問10 ピアジェ(Piaget, J.)は、認知の発達を大きく四つの段階に分けている。次の文は、ある時期の子供の思考の特徴を表している。この時期を表す最も適切なものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

この時期の子供は、心的なイメージや言語を使用して思考することができるようになっていく。ただし、それらの思考は自己中心性によって特徴付けられている。

- ア 具体的操作期
- イ 感覚運動期
- ウ 前操作期
- エ 形式的操作期

問11 人がもつ記憶の種類のうち、特定の時間において、ある場所で起こった個人的な経験に関する情報の長期記憶として最も適切なものを、次のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 意味記憶
- イ エピソード記憶
- ウ メタ記憶
- エ 感覚記憶

問12 [A群]は日本の幼児教育の発展に貢献した人物，[B群]はその人物について説明したものである。[A群]と[B群]の組合せとして最も適切なものを，下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

[A群]

- ① 東基吉      ② 城戸幡太郎      ③ 及川平治

[B群]

- a 子供の自律性を尊重し，「分団式動的教育法」を提唱した。  
b 明治後期，恩物中心主義の保育を批判し，伝統的な形式主義保育の革新を推進した。  
c 幼児教育を科学的に教育学の体系に位置付け，「感化誘導」の保育理論を唱えた。  
d 社会中心主義を主張し，新しい「協同社会」を建設し得る「生活力」のある子供の育成を目指した。

	①	②	③
ア	c	b	d
イ	d	c	a
ウ	a	d	c
エ	b	d	a

問13 次の文は，発達の見方について述べたものである。空欄  に当てはまる語句として最も適切なものを，下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

とは，子供が自力で問題を解決することができる水準と，大人や仲間による援助や指導によって問題の解決が可能になる水準との差の範囲のことである。

- ア レディネス  
イ 発達加速現象  
ウ 同化と調節  
エ 発達の最近接領域

問14 「幼稚園教育要領」(平成20年文部科学省告示第26号)「第3章 指導計画及び教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動などの留意事項 第1 指導計画の作成に当たっての留意事項」の「1 一般的な留意事項」(8)に示された内容として適切でないものを、次のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 幼児の生活は、幼稚園を基盤として地域社会を通じて次第に広がりをもつものであることに留意し、家庭との連携を十分に図る。
- イ 地域の自然、人材、行事や公共施設などの地域の資源を積極的に活用し、幼児が豊かな生活体験を得られるように工夫する。
- ウ 家庭との連携に当たっては、保護者との情報交換の機会を設けたり、保護者と幼児との活動の機会を設けたりなどする。
- エ 家庭との連携に当たっては、保護者の幼児期の教育に関する理解が深まるよう配慮する。

問15 次の文は「幼稚園教育要領」(平成20年文部科学省告示第26号)「第3章 指導計画及び教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動などの留意事項 第1 指導計画の作成に当たっての留意事項」の「2 特に留意する事項」(2)に示されている記述である。文中の( ① )から( ③ )に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

障害のある幼児の指導に当たっては、集団の中で生活することを通して( ① )を促していくことに配慮し、特別支援学校などの助言又は援助を活用しつつ、例えば指導についての計画又は家庭や医療、福祉などの業務を行う関係機関と連携した支援のための計画を( ② )作成することなどにより、個々の幼児の障害の状態などに応じた指導内容や指導方法の工夫を( ③ )に行うこと。

- |   | ①       | ②     | ③       |
|---|---------|-------|---------|
| ア | 全体的な発達  | 学級ごとに | 総合的、弾力的 |
| イ | 苦手分野の克服 | 個別に   | 総合的、弾力的 |
| ウ | 全体的な発達  | 個別に   | 計画的、組織的 |
| エ | 苦手分野の克服 | 学級ごとに | 計画的、組織的 |